

# エが 第329号 公民館報

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

### 四賀の世帯数・人口

世帯数	1,924	世帯
人口	4,314	人
男	2,082	人
女	2,232	人

(令和2年7月1日現在)

## 上高地を満喫 ウォーキング



コロナウイルスの影響で公民館・ひろば共催のウォーキングが中止となっていました。自粛規制が解除され、6月15日(月)今年度初めての「上高地ウォーキング」が実施されました。感染予防対策を実施し、バス定員の約半分の17名で実施しました。外出自粛が定着しており上高地のベストシーズンにかかわらず道路や駐車場に車やバスの姿は少なく、四賀から2時間ほどで上高地に入ることができました。



河童橋 前日の豪雨で濁った梓川だが、晴天に恵まれ穂高岳や岳沢の残雪はくっきりと望めた。



田代池 伏流水が湧き出る田代池の透き通った清流。  
ニホンザル 過酷な冬も上高地で生活するニホンザル。木道で寛ぐ親子。

た。前日の大雨から一転して絶好の好天に恵まれ穂高連峰の残雪がくっきりと望まれます。梓川は大雨で濁り、透き通った清流は望めませんが木々は雨上がりの爽やかな緑を振り撒いてくれました。河童橋から明神池方面を予定していましたが、前日の大雨で落石や崩落があるということで通行止めになっており、下流の田代池を巡ることにしました。湿原の向こうに穂高岳を望む人気の田代湿原と霞沢岳からの湧き水が流れる田代池の清流や今が盛りのレンゲツツジ等、シーズン中には稀なゆつたりとした上高地を満喫できました。

## 四賀の桑の実シヤム

最近桑の実が美容・健康食品として注目を浴びています。

この地でも特産品として平成16年からシヤム作りがスタートし、商工会「四賀元氣プロジェクト」「女性部」が毎年奮闘しています。

この地の養蚕業は明治20年代に始まり、昭和30年代半ばには衰退しました。名残の桑畑や桑の木が四賀各地に残されています。採取は自然の中、大木化した桑の木が相手。栽培されている木であれば手摘みも可能です。それは無理。高所にある実をブルーシートを敷き払い落とす方法しかありません。この方法、実と共に葉っぱ、枝、虫(カメムシ、毛虫、クモ等)が同時に落ち、今度はゴミ、虫を取り除き洗いそしてチェックと手筒のかかる人海戦術。虫1匹が混入して50kgをダメにしたこともあります。また、その年の天候により実の熟す時期が違ったり、遅霜で収穫量が減ったりとシヤム作りは自然に振り回されています。

また、スタートしてから7年目位までは就職難もあり採取者も大勢いて平成21年には1トンを超えたこともありましたが、最近では200kgの目標に中々達成出来ません。シヤムの加工は「南安曇農業高等学校」で授業の一環に取り入れて作られています。今年からは「障害者就労」ということでお手伝いいただき大きな戦力となっています。今後事業継続を願い、シヤム他タルト作りの商品開発への挑戦もしています。



桑の実採取現場。ブルーシートを敷いて

## 新型 コロナウイルス 撃退じゃ〜



妖怪  
アマビエ

# スマホレベルアップ講座



スマホを持つてはいても高機能すぎて使いこなせない。一から教えてほしい。こうした声を受けて、基礎から学べる「スマホレベルアップ講座」を開催しました。スマホの基本操作や初期設定に始まり、SNSやLINEの使い方、各種アプリについてを全3回で学びます。

初回の6月23日には、会場のピナスホールに女性11名が集まり、講師の松本大学・上川

由香里先生からスマホの仕組みや基本の操作方法などを学びました。

参加者は「ふだんは電話やメール、LINEくらいしか使わない」「設定は子ども任せ」と言いながらも、講師の説明を聞きながら自分のスマホを操作し、使い方を初歩から再確認していました。講座終了後には安全便利にスマホを使いこなせるのが良いですね。

# 本陣 小澤家が宿泊施設に

保福寺宿の中ほどにある旧本陣小澤家。一部木造3階建ての母屋と洋館の離れを持ち、見る人を圧倒するスケールと風格のある建物です。再生事業に取り組んでいた「アグリツーリズム四賀推進協議会」が宿泊施設として改修し、この夏に開業予定です。

事業の発起人で協議会の代表を務める望月なつえさんは「由緒ある建物を何としても残そうと、5年前から取り組んできた。建物の再生にとどまらず、地域の活性化につなげたい」と話します。事業はスタートラインに立ったばかりです。広い敷地の整備には地域の応援も必要になるでしょう。多くの人を巻き込み、地元

の歴史や魅力を再発見する事業に育ってほしいと願っています。



① 間口11間、奥行き10間の堂々たる佇まいの母屋。  
② 開放感あふれる食堂。左手は厨房。  
③ 客室として利用する大広間。

供用開始

# 四賀球場

3月に完成した松本市四賀球場ですが、新型コロナウイルス感染症防止のため利用できない期間がありました。今は施設管理員も常駐し、感染防止対策を行い供用開始されています。

浅間温泉にある松本市野球場は大規模改修工事のため、令和3年3月まで利用できません。このため2020年度夏季高等学校野球長野大会の中信地区の会場は四賀球場となり、無観客で試合が行われています。

土日を中心に予約が入っていますが、利用したい人は四賀公民館までお問合せください。



# 湧き水

▼今年我が家に数年ぶりに燕が戻ってきました。現在2つの巣がありそれぞれの親燕が一生懸命餌を運んで子育てしています。巣立ちも間もなくではと思っています。

▼今から5年ほど前だったと思います。その年燕の巣が3つありました。毎日ヒナたちの様子を見るのが楽しみでした。それがある日突然全ての巣の中のヒナたちがいなくなってしまうのです。巣も少し壊れています。不気味な静けさです。思い当たることがありました。前日の夕方玄関先に大きなアオダイショウがいてその時は追い払ったんですがもしかして…それまで毎年何事も無く巣立って行っていたので何の不安も無かったです。…自然の摂理とはいえあまりに悲しい出来事でした。それからというものの毎年燕の来る季節にはヘビの忌避剤を家の周りに撒いています。

▼今年燕が我が家を住まいに選んでくれたことに喜びと同時に責任を感じています。出来る限りの対策をし燕たちが無事に巣立つことを最後まで見守ろうと思います。